

研究課題名：	バンドルケアに対策を追加することでカテーテル関連血流感染症の発生を防げた1例
所属(診療科等)：	公立昭和病院 感染管理部
研究責任者(職名)：	小田 智三 (医長)
研究期間：	2018年12月20日～2019年3月31日
研究目的と意義：	カテーテル関連血流感染症 (catheter related blood stream infection : CRBSI) は、在院日数を長期化させ医療費を増大させるだけでなく、患者の死亡リスクを高めるため予防が重要である。多くの医療機関では、2006年に Pronovost らが発表した CRBSI 予防の5つの対策 (バンドルケア) を実践しているが、発症を0にすることは困難である。今回、このバンドルに対策を追加することで CRBSI の発生を防ぐことができるかどうかを検討する。
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん 急性骨髄性白血病の診断にて癌化学療法を施行しカテーテル関連血流感染を起こした患者。 ●利用するカルテ情報 診断名, 身体所見, 検査結果, 診療についての記録等 ●研究方法 カテーテル関連血流感染予防のためのバンドルケアに追加して対策を行う。具体的には、ドレッシング剤の変更, カテーテルの取扱い及び手指衛生のタイミングについて詳細な指導を患者へ実施し患者と共に対策を行う。 この追加で行った対策の効果を検証するために、追加対策を行っていなかったケースと追加対策を行ったケースにおけるドレッシング材の交換頻度, 抗菌薬・ドレッシング材の費用の比較を行う。 ●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】 氏名：長谷川 忍 (看護師) 住所：小平市花小金井8丁目1番1号 電話：042 (461) 0052 (代表) FAX：042 (464) 7912</p> <p>【ご意見・相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く) 総務課 042 (461) 0052 内線 2247 受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)</p>